

技術系

山口河川国道事務所
工務課

川西

里紗 平成20年入省
【土木】

要望と未来をカタチにしていける仕事です
その中で、様々な捉え方、考え方が必要になります

先輩からひとこと



地域に貢献出来る仕事
なので、やりがいがあります。

AM8:30

スケジュール確認

席に着くと、メール確認、一日の作業の優先順位を決めてから、今日の作業に取りかかります。また、毎週月曜日と水曜日は、課内全員で1週間の予定や懸案仕事の進捗状況などを確認し、情報共有を行っています。

AM9:00

作成書類の内容報告

橋梁や舗装工事を契約するために、書類を作成し、工事の施工方法や積算内容を上司に説明します。
上司から、積算内容や図面作成で指摘された箇所は修正し、不明確な内容は、先輩係員や係長に確認をして、正確な書類作成に努めています。

AM10:30

現場確認

担当の工事現場で、図面や積算どおりに施工されているかを確認します。今日の現場は、支障となる電柱があり、施工条件を変更している部分を確認しました。現地状況把握し、適正な積算を行うには、自分の目で見るのが、一番大切だと思います。

PM2:00

若手職員勉強会

若手係員や係長の技術力の向上のために、定期的に勉強会が行われています。
今回は、「失敗から学ぶ」ということで、道路設計や施工現場、地元説明会等の経験談と反省点についての紹介でした。土木技術の奥深さが分かりました。

PM4:00

三者合同会議

発注者、施工業者、設計コンサルタントの三者で、設計条件の確認や、現地状況との相違を打合せます。施工が確実に出来るように、議論し最適な方法を検討します。打合せが長時間になることもしばしば。より品質の良い物を作るには、重要なことです。

